

事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(令和元年度 島根県)

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名) ①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①										成果目標の具体的な実績①	メニュー②(対象作物・畜種等名)	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②										成果目標の具体的な実績②	事業内容(工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後	6年後	目標値	達成率	計画時				1年後	2年後	3年後	4年後	5年後	6年後	目標値	達成率	交付金口	都道府県費				市町村費	その他口						
益田市	株式会社メイプル牧場	畜産生産基盤育成強化(生乳)	(平成22～24年) 1頭当たりの年間生乳生産量 8,871kg (H22～H24の平均(年間)生乳生産量(ト)/経産牛頭数(頭)) H22: 4,489 t / 528頭 H23: 6,118 t / 701頭 H24: 9,730 t / 1,037頭	(平成26年) 1頭当たりの年間生乳生産量 10,099kg (年間)生乳生産量 10,170 t / 経産牛頭数1,007頭	(平成27年) 1頭当たりの年間生乳生産量 9,587kg (年間)生乳生産量 11,802 t / 経産牛頭数1,231頭	(平成28年) 1頭当たりの年間生乳生産量 9,742kg (年間)生乳生産量 12,577 t / 経産牛頭数1,291頭	(平成29年) 1頭当たりの年間生乳生産量 9,932kg (年間)生乳生産量 12,335 t / 経産牛頭数1,242頭	(平成30年) 1頭当たりの年間生乳生産量 10,678kg (年間)生乳生産量 11,917 t / 経産牛頭数1,116頭	(令和元年) 1頭当たりの年間生乳生産量 9,961kg (年間)生乳生産量 12,800 t / 経産牛頭数1,285頭	(令和元年) 1頭当たりの年間生乳生産量 9,515kg (年間)生乳生産量 12,722 t / 経産牛頭数1,337頭	169.3%	1頭当たりの年間生乳生産量が12.29%増加した	畜産生産基盤育成強化(生乳)	生乳100kg当たり労働時間を26.3%以上削減する	(平成22～24年) 生乳100kg当たり労働時間 0.561時間 (H22～H24の平均(総労働)時間(h)/年間生乳生産量(t)) H22: 27,730h / 4,489 t H23: 33,408h / 6,118t H24: 50,589h / 9,730 t	(平成26年) 生乳100kg当たり労働時間 0.529時間 (総労働)時間 53,849 h / 年間生乳生産量 10,170 t	(平成27年) 生乳100kg当たり労働時間 0.486時間 (総労働)時間 57,376 h / 年間生乳生産量 11,802 t	(平成28年) 生乳100kg当たり労働時間 0.478時間 (総労働)時間 60,172 h / 年間生乳生産量 12,577 t	(平成29年) 生乳100kg当たり労働時間 0.472時間 (総労働)時間 58,178 h / 年間生乳生産量 12,335 t	(平成30年) 生乳100kg当たり労働時間 0.457時間 (総労働)時間 54,435 h / 年間生乳生産量 11,917 t	(令和元年) 生乳100kg当たり労働時間 0.412時間 (総労働)時間 52,727 h / 年間生乳生産量 12,800 t	(令和元年) 生乳100kg当たり労働時間 0.413時間 (総労働)時間 52,589 h / 年間生乳生産量 12,722 t	100.7%	生乳100kg当たり労働時間が26.6%削減された	乳用牛舎 ・成牛舎 3棟 (4437.6㎡) ・哺育舎 1棟 (440.1㎡) ・堆肥舎 1棟 (1,704㎡) ・設計監理 一式	502,524,000	215,251,000	0	0	287,273,000	H27.3.27	カウコンフォートへの取り組みや牛群管理システムを取り入れた施設の整備により、乳房炎等疾病の早期発見など、効率的な搾乳が可能となり、1頭あたりの乳量が増加した。また、施設整備により、繁殖・泌乳ステージに応じた個体管理が可能となり、生産効率が向上し、労働時間が削減されたため、目標を達成した。 飼養頭数は、初妊牛の導入価格が高水準を維持したため、目標を達成していないが、今後、導入頭数の増加により、令和2年度には目標を達成する見込み。	搾乳牛1頭あたりの生乳生産量は増加し、生乳100kgあたりの労働時間も削減しており、目標を達成していることから、事業実施の効果が表れている。 引き続き計画頭数の達成に向けて自家育成牛の確保を指導していく。				
浜田市	T C 浜田農場株式会社	野菜(トマト)	(平成28年) 全出荷量に占めるA品(秀品)率を50%増加させる	(平成29年) 0.0%	(平成30年) 84.8% (全出荷量126tのうちA品秀品量106t)	(令和元年) 80.8% (全出荷量120tのうちA品秀品量97t)	-	-	-	(令和元年) 50.0% (全出荷量230tのうちA品秀品量115t)	161.5%	全出荷量に占めるA品(秀品)率が80.8%増加した	野菜(トマト)	全出荷量に占める契約取引の割合を50%増加させる	(平成28年) 0.0%	(平成29年) 0.0%	(平成30年) 60.4% (全出荷量126tのうち契約取引量76t)	(令和元年) 80.8% (全出荷量120tのうち契約取引量97t)	-	-	-	(令和元年) 50.0% (全出荷量230tのうち契約取引量115t)	161.5%	全出荷量に占める契約取引の割合が80.8%増加した	生産技術高度化施設 低コスト耐候性ハウス ・18m×72m/棟10棟 ・施設面積12,960㎡ ・養液栽培システム 一式 ・複合環境制御装置一式	442,800,000	196,650,000	0	0	246,150,000	H30.3.26	秀品率及び契約取引の割合とも目標達成しているものの、全出荷量については、加温開始時期の遅れ等により、樹勢が低下したため単収が増加しなかった。今後は、各種要因を改善し、生産量増加に向け努めていく。	秀品率及び契約取引の割合とも目標を達成している。しかし、全出荷量の実績は計画を下回ったことから、今後、加温時期の調整等による栽培技術の改善や、収量低下の要因であった水源を新たに確保する等の指導を行う。				

都道府県平均達成率	100.0%	総合所見	目標年度を迎えた事業は2事業で、それぞれ2項目の成果目標を掲げており、いずれも達成できた。
-----------	--------	------	---

- (注) 1 別紙様式1号の2のIに準じて作成すること。  
 2 要綱第3の4の(2)のAのただし書きの場合にあつては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。  
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。  
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。  
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。  
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。